

第 53 回滋賀県消防研究会

最優秀賞を受賞!!!

令和 8 年 7 月 7 日（火）に滋賀県消防学校において「第 53 回滋賀県消防研究会」が開催され、県内消防本部から応募された 13 作品の中から、昨年度に引き続き、当消防本部の作品が最優秀賞を受賞しました。本作品は、上位大会である「第 66 回全国消防長会東近畿支部消防研究会」に滋賀県代表として推薦される事となっています。

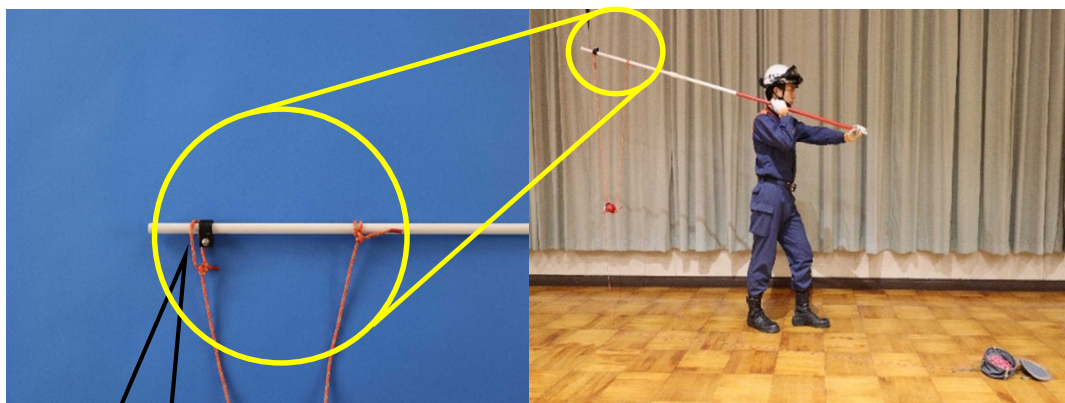
【最優秀賞 受賞作品】

○作品名

「救命索投てき器具（レスキュースロー）の開発について」

○作品内容

近年、気候変動の影響により、ゲリラ豪雨や線状降水帯、台風等による流水救助事案が増加しています。こうした現場では、要救助者への迅速な接触や、増水した河川対岸へのロープ設定が極めて重要となります。従来、対岸へのロープ設定には救命索発射銃やパチンコ型投てき器具が使用されてきましたが、「高額である」「厳重な管理（銃刀法関連等）が必要である」といった理由から、配備数や運用面に課題がありました。そこで、これら従来資器材の課題を踏まえ、「容易な製作」「容易な取扱い」「低コスト」の 3 点をコンセプトに、「救命索投てき器具（レスキュースロー）」を開発しました。本資器材は、廃材やホームセンターで入手可能なのぼり旗用ポール等を材料としており、特別な訓練を要さず、従来資機材と同等の投てき能力を有します。また、軽量・コンパクトで車両積載も容易なため、迅速かつ安定した救助活動に寄与するものです。



【資器材の全景】

棒を振ることによる遠心力で輪が外に抜ける



【資器材使用時の状況】

		隊員A	隊員B	隊員C	隊員D	隊員E
身長 (cm)		164	183	168	173	174
体重 (kg)		70	88	65	75	70
勤続年数		6	12	1	24	31
年齢		29	31	23	47	51
【無風時】 投てき (m)	1投目	58	63	58	57	58
	2投目	63	60	60	61	60
	3投目	62	57	61	60	62
【横風5m】 投てき (m)	1投目	59	61	57	61	58
	2投目	61	63	60	60	60
	3投目	63	61	62	59	60
平均		61	61	60	60	60

【隊員別投てき記録】

表彰式

